

3F	9月	10月	11月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第3期 ～10月9日(月・祝)	10月20日(金)～	第4期 ～1月8日(月・祝)
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	第2期 ～9月18日(月・祝)	9月29日(金)～	第3期 ～11月27日(月)
特別展示室 企画展	今年はうさぎ年!大やまびよんまつり ～9月4日(月) 9月16日(土)～	高知城 ～未来へ伝えたい地域の宝～	～12月10日(日)

城博講座 (9月～11月)

- 9月**
- 9日(土) 古文書講座「古文書解読入門」第3回 漢字と仮名
講師/藤田雅子(当館歴史担当学芸員)
 - 23日(土・祝) 美術工芸講座「交わる美術」第3回 漆にまつわる人々～近世の漆産業～
講師/尾本師子(当館美術担当学芸員)

- 10月**
- 14日(土) 歴史講座「歴史のなかの高知城」第2回 享保の大火と高知城の再建
講師/水松啓太(当館歴史担当学芸員)
 - 21日(土) 保存修復講座「文化財を守る伝統の技と人々」第2回 文化財の補修紙～土佐和紙を中心に～
講師/田井東浩平(当館保存担当学芸員)
 - 28日(土) 日本の文化講座★要申込「城郭～普請と作事～」第1回「高知城の天守・御殿と櫓・城門」
講師/三浦正幸氏(広島大学名誉教授)
※本誌表紙ページの「記念講演会」をご参照ください

催し物 **みる・きく・さわる**
「和菓子づくりを体験しよう!」
11月3日(金・祝)

場所 当館1F 実習室 申込方法 当館まで電話・FAX・ハガキにて、お名前・学年・住所・電話番号をお知らせください。
定員 小学生の親子12組 ※お申し込み多数の場合は、抽選になります。抽選結果は当選された方への整理券の発送をもって代えさせていただきます。
参加費 1人 600円
講師 福留菊水堂

- 11月**
- 11日(土) 古文書講座「古文書解読入門」第4回 辞書の使い方
講師/藤田雅子(当館歴史担当学芸員)
 - 18日(土) 日本の文化講座★要申込「城郭～普請と作事～」第2回「高知城の石垣 その魅力を探る」
講師/吉成承三氏(高知県立埋蔵文化財センター 調査課長)
※本誌表紙ページの「石垣散策会」をご参照ください
 - 25日(土) 美術工芸講座「交わる美術」第4回 日本美術の否定と自覚～ジャポニスム～
講師/丸塚花奈子(当館美術担当学芸員)
- ★は、要事前申込(詳細は、本誌表紙ページをご参照ください)

会場/当館1階ホール 時間/10:00～11:30 定員/60名 参加費/無料 申込み/不要(当日先着順)

お得な年間観覧券がおすすめです

城博の展示は、年間5回の企画展に加えて総合展示室2室も約2ヶ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

年間観覧券 / 2,000円
※有効期限は購入日から1年間

各種会員制度もご利用ください

友の会 年間観覧券と様々な特典があった会員制度です。

年間 3,500円

情報会員 城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせを自宅にお送ります。

年間 500円

友の会、情報会員の詳細はこちら



開館時間 9:00～18:00 (日曜日は8:00～18:00) ※展示室への入室は閉館30分前まで

休館日 年末 (12月26日～31日) ※展示室の開室スケジュールはホームページをご覧ください

- 観覧料
- ◆500円(400円) ※()は団体20名以上の料金
 - ◆企画展開催期間中…700円
 - ◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです(当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円
 - ◆高校生以下は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料 ※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料

- 交通アクセス
- ◆お車 高知自動車道高知ICから約15分、一般来館者用の駐車場はございません。高知公園(高知城)駐車場など周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり
 - ◆JR JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)はりまや橋下車にて乗り換え、高知城前下車、徒歩2分
 - ◆飛行機 高知龍馬空港から空港連絡バスにてはりまや橋下車、徒歩約20分

高知県立
高知城歴史博物館

〒780-0842 高知市追手筋2-7-5
TEL.088-871-1600
FAX.088-871-1619

高知城博 検索



発行日/令和5年(2023)9月17日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館 印刷/共和印刷株式会社

城博 ニュース

令和5年(2023年) 9月16日(土) ≫ 12月10日(日)

高知城

未来へ伝えたい 地域の宝

企画展 高知公園150年

見たことのない 高知城 がここにある

三ノ丸丑寅櫓欄干柱 当館蔵
二ノ丸御殿 化粧の間欄間(梅の枝の欄間) 高知県蔵

関連行事

A 高知城と博物館の連携企画

10月1日(日) 10時～11時、14時～15時
追手門前集合 定員各20名 要申し込み
「追手門と詰門の特別見学会」
※通常非公開の場所を特別に見学します。雨天の場合は10月8日に延期

B 記念講演会

10月28日(土) 10時～11時30分
当館1階ホール 定員60名 要申し込み
三浦正幸氏(広島大学名誉教授)
「高知城の天守・御殿と櫓・城門」

C 石垣散策会

11月18日(土) 10時～11時30分
追手門前集合 定員30名 要申し込み
吉成承三氏(高知県立埋蔵文化財センター 調査課長)
「高知城の石垣 その魅力を探る」

D 学校の先生向け 展示解説と現地解説

10月14日(土) 13時30分～16時
当館・高知城 要申し込み
横山和弘(当館副館長)
「学校で伝えたい高知城の魅力」

Dの申し込み方法など
実施要項は、教科研究センターホームページから。
https://sites.google.com/g.kochinet.ed.jp/kochi-studycenter
お問い合わせは、高知県教育センター 学校支援部 (TEL 088-866-5155)へ。

E 一般向け展示解説

9月24日・10月22日・11月26日
いずれも日曜日 11時～(約60分)
3階特別展示室

申し込み方法など
●A・B・Cは要事前申し込み、申し込み多数の場合は抽選。申し込み締め切りは、Aは9月17日まで、Bは10月7日まで、Cは10月28日まで。申し込みは当館まで、電話・はがき・FAXにて(いずれも必着)。
●E・Fは申し込み不要、当日直接会場へお越しください。
※いずれの行事も、参加費は無料(ただしEの展示解説に参加される方ならびにFの展示解説で同伴される保護者の方は、展示室への入場料が必要となります)。
※B・Cは、今年度の城博講座の内、「日本の文化講座」の1回目と2回目を兼ねています。

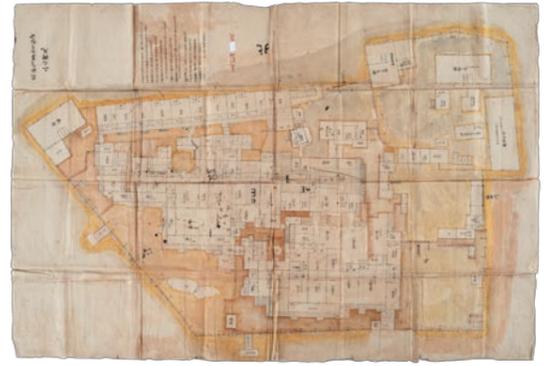
F 小中学生向け展示解説

10月8日・11月12日・12月10日
いずれも日曜日 11時～(約40分)
3階特別展示室

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主の御道具など6万7千点の土佐藩山内家資料を核とした土佐藩・高知県ゆかりの収蔵資料の中から学芸員がオススメの名品や隠れた逸品をご紹介します。

高知城二ノ丸御殿等指図

さしず



江戸時代 安政三年(一八五〇)当館蔵
紙本墨書 淡彩 縦〇九・八cm 横六・四cm

を執る、いわば藩主の公邸で、二ノ丸の南側(掲載の図では下側)に位置し、一方、奥御殿は藩主が側室や御殿女中など日常生活を送るプライベート空間で、二ノ丸の西側に位置していました。奥御殿の北側には、御殿女中の暮らす長局があり、また二ノ丸の中心には、御殿で生活する人々の食事を賄う御台所がありました。

この図は、これら表と奥の両御殿長局・御台所などの平面構成間取りや配置などを詳細に記す点に大きな特徴があり、二ノ丸の御殿等を復元する上で、有力な根拠資料となるものです。

また、従来、本丸に関しては、その周囲に防御機能が充実していることが注目されてきましたが、実は本図を丁寧に見ていくと、二ノ丸の周囲にも多くの防御機能が設けられていたことが分かります。例えば、二ノ丸東側の塀には、○・◇・△・□などの鉄砲狭間、表御殿上段の間の南塀には、鉄砲狭間(○)・矢狭間(長方形)に加え石落など、さらに長局の北壁にも、石落が四方所備えられていました。ほぼ等間隔で、二ノ丸をぐるりと一周取り囲む様に、矢狭間・鉄砲狭間・石落などが設けられていたことが分かります。二ノ丸の塀(外周)をイメージする上で、大変貴重な情報を提供してくれました。

さらに、余白には、表御殿の玄関は唐破風造り、柱材の形状と寸法、表と奥の両御殿の屋根は小粉葺・箱棟、御台所の屋根は本瓦葺などの注記があり、注目されます。見れば見るほど、新たな発見があるこの絵図、秋の企画展「高知城展」では、実物を展示しますので、ぜひご覧ください。これまでほとんど知られていない二ノ丸御殿の姿も古写真から紹介します。あわせてご覧ください。

副館長兼教育普及課長
横山和弘

現在の風景からは、想像するのが難しいかもしれませんが、江戸時代には、高知城の二ノ丸には御殿や櫓・城門などが所狭しと並んでいました。この図は、それら二ノ丸の建築物の全体像を描いたもので、二ノ丸の平面図としては、現在確認されている唯一のもので、よく知られているように、二ノ丸は、藩主が居住する特別な場所、表御殿と奥御殿を中心に構成されていました。表御殿は藩主が日常的に政務

が、江戸時代には、高知城の二ノ丸には御殿や櫓・城門などが所狭しと並んでいました。この図は、それら二ノ丸の建築物の全体像を描いたもので、二ノ丸の平面図としては、現在確認されている唯一のもので、よく知られているように、二ノ丸は、藩主が居住する特別な場所、表御殿と奥御殿を中心に構成されていました。表御殿は藩主が日常的に政務

が、江戸時代には、高知城の二ノ丸には御殿や櫓・城門などが所狭しと並んでいました。この図は、それら二ノ丸の建築物の全体像を描いたもので、二ノ丸の平面図としては、現在確認されている唯一のもので、よく知られているように、二ノ丸は、藩主が居住する特別な場所、表御殿と奥御殿を中心に構成されていました。表御殿は藩主が日常的に政務

企画展 高知公園150年

高知城

未来へ伝えたい
地域の宝



驚きと再発見をキーワードに、高知城の築城から戦後の解体修理工事までの歩みをダイジェストで振り返る、高知城の入門的な企画展です。

◆高知城の城門通行手形を初公開

江戸時代後期の高知城の城門通行手形3点を初公開します(会期中展示替えあり)。

◆初公開の古写真を含む、見たことのない高知城の風景をご紹介します

幕末維新期に撮影された天守・本丸御殿・東多間・廊下門・太鼓櫓・二ノ丸御殿・三ノ丸御殿・御屋敷(下屋敷)・追手門の風景など、初公開の古写真4点を含む、これまでほとんど知られていない高知城の貴重な風景をご紹介します(古写真は写真パネルで紹介)。

◆二ノ丸御殿と三ノ丸御殿の指図を初めて同時に公開

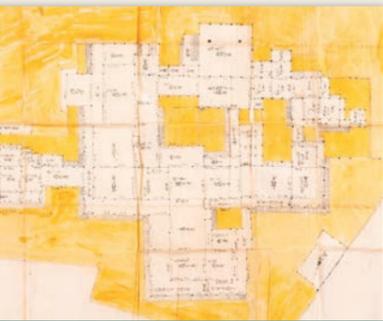
二ノ丸御殿の指図(当館蔵)と三ノ丸御殿の指図(安芸市立歴史民俗資料館蔵、高知県指定文化財)と一緒に展示される初めての機会です。この機会に、貴重な2枚の御殿指図をぜひご覧ください。



古写真 東側より天守・太鼓櫓・追手門等を望む 明治時代、高知市立市民図書館蔵



二ノ丸御殿化粧の間欄間(梅の枝の欄間) 江戸時代、高知県



高知県指定文化財 三ノ丸御殿等指図 江戸時代、安芸市立歴史民俗資料館蔵



高知城図説 江戸時代、高知県立図書館蔵

展示のみどころ

◆高知城にゆかりの資料を一挙公開
国指定重要文化財、高知県指定文化財を含む、実物資料約80点をご紹介します。写真パネルでの紹介資料とあわせて、全体で100点を超える資料をご紹介します。

主な展示資料



国指定重要文化財 追手門享和再建棟札 江戸時代、当館蔵

総合展示室 展示情報

歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

総合展示室 第3期 8月4日(金)~10月9日(月・祝)

ピックアップ 鯉形皿

江戸時代、全国にその名が知れた土佐鯉。今期は特産品の鯉にちなんで、土佐藩の豪商の家に伝わった鯉形皿を展示しています。見た目を丁寧に仕上げた鯉形の漆器は本物と見まがう逸品です。土佐藩の歴史と合わせてご覧ください。



総合展示室 第3期 9月29日(金)~11月27日(月)

ピックアップ たのしい火薬入れ

大名道具と土佐の文化
火縄銃の火薬を安全に持ち運び、かつ素早く装填するための容れ物「火薬入れ」「卓合」は、てのひらに載る程小さいのに、驚くほど装飾性豊か。凝りに凝った大名の装束をお楽しみください。



活動レポート

夏休み特別企画を行いました



4年ぶりに新型コロナウイルスによる制限がない夏をむかえた当館では、夏休み子ども向け企画展の開催に加えて様々な特別企画を行いました。

「ジョーハクキッズデー」では、甲冑装着体験や体験用の変わり兜等に触れられる「わくわく!体験コーナー」、当館キャラクターやまびよんの登場などを夏休み期間中7日間限定で行い、毎回たくさんの家族連れでにぎわいました。



また7月の「海の日」にちなんだ特別イベントでは地元事業者さんによる宗田節や酒盗、天日塩等々の高知ならではの物産展を、続いて8月の「山の日」にちなんだ特別イベントでは土佐茶のふるまいや高知商業高校ジビエ部によるジビエ商品の販売、さらに講師の方たちを迎えて土佐材、土佐和紙、土佐漆喰などを使ったワークショップも行いました。どのイベントも県内各地の事業者や講師の方たちの協力により大変充実したものとなりました。

初の試みとしては、4年ぶりの通常開催となったよさこい祭りにあわせて「よさこい祭り第1回の鳴子」特別展示とやまびよんの「キャラクター弁当づくり教室」を行いました。

コロナ前以上に多彩な催しを行ったこの夏。長い間博物館を十分に楽しむ機会が少なくなっていた子どもたちをはじめ多くの方々に当館に親んでもらう機会となったのではないかと思います。

総務課 広報 大保和巳

夏の企画展「大やまびよんまつり」

今年の夏は、博物館では初の子ども向け企画展「大やまびよんまつり」を開催しました。やまびよんとは、土佐藩山内家伝来の「兎耳形兜」をモチーフにした当館のオリジナルキャラクターです。今年は展示をはじめ、イベントやさまざまな企画にやまびよんが登場して、来館者を出むかえました。

企画展では、「おとのさまの1日」を、やまびよんと、兎耳形兜の持ち主であった土佐藩4代藩主の山内豊昌(通称「との」)が対話する形式で紹介。室内には、来館者から寄せられた江戸時代やおとのさまの暮らしに関する質問に「との」が回答するコーナーや、お気に入りの展示資料を集めて自分だけの博物館を作るペーパークラフト等も用意しました。また、展示室のあちこちで楽しく見学している家族連れの姿が見られました。

その他、関連行事として、週末には高知城の探検や、昔から着物を染めるのに用いられている「型染」の技法を用いたオリジナルバッグ作り等の催しも行い、沢山の子どもたちで賑わいました。

きっかけは、子どもたちに歴史や文化に楽しく触れてもらいたいという思いから企画した本展でしたが、子どもはもちろん大人にも楽しんでもらえる展示になったのではないかと思います。「楽しく学ぶ」をキーワードに、また今後も新しい企画を考えていきたいと思っています。

教育普及課 学芸員 中屋真理

